

- ▶ 丸亀市では、森林環境譲与税の創設を契機に、木材利用や住民への普及啓発活動を通し、森林整備への理解の醸成に取り組んでいく方針。
- ▶ 令和元年度は、木材を活用した青ノ山の案内看板のリニューアルを行ったが、令和2年度においては、公共施設の木質化を実施。

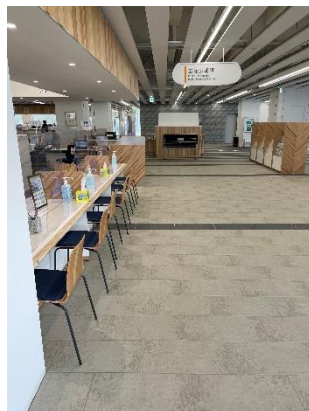
□ 事業内容

1 公共施設の木質化事業

- 丸亀市の新庁舎に県内産木材を活用した椅子を設置する。
【事業費】 18,608千円（うち譲与税12,350千円）
 （譲与税は、全体購入費のうち木材利用部分に相当する金額に充当）
【実績】 木材使用量 1.1m³

□ 工夫・留意した点

- 丸亀市役所の新庁舎建設にあたり、庁舎内で使用する机や椅子などの什器類に県内産木材を優先的に利用するよう調整を図った。



公共施設木質化の様子

◇ 基礎データ

①令和2年度譲与額	9,774千円
②私有林人工林面積（※1）	218ha
③林野率（※2）	27.0%
④人口（※3）	110,010人
⑤林業就業者数（※3）	4人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3：「H27年国勢調査」より